

# みんなのまち

日本共産党文京区議団ニュース

区政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

## 削られた福祉・教育予算増やしムダ削る

### 予算修正案を提出

区長案の一般会計予算を9,960万円増額する修正案を共同提案しましたが、否決されました。



(修正提案の主なもの)

- ▲区議の費用弁償を廃止する  
議会出席毎に4千円支給を廃止
- 外出介助のヘルパー派遣助成  
通院や散歩などで家族が介助できない高齢者に対しヘルパー派遣を区独自に行う
- 生活困窮者に無料入浴券支給  
お風呂のない人に月5枚支給
- 区内全域で耐震補強工事助成  
60万円を限度に工事費の半額を助成する
- 商店街の装飾灯電気代補助  
補助率50%を75%に増やす
- 福祉タクシー助成額を戻す

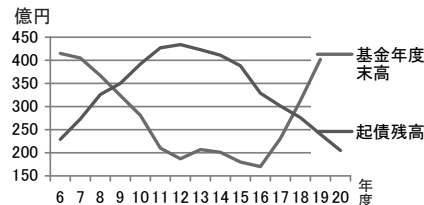
月額2700円を3900円に、リフト付きタクシーも2台に戻す  
▲サーマルリサイクル実施中止  
プラスチックを燃やさず、多分別収集の方向で、環境にやさしいリサイクルの徹底を  
○学校図書室の蔵書購入予算増  
1学級につき小学校1万円、中学校2万円を増額する  
○給食費の負担軽減の対象拡大  
所得基準を生活保護の2.5倍に緩和する

### 08年文京区予算に反対

基金400億円など潤沢な財政を区民の生活支援に使うべき、さらに国保料、介護保険料の引き下げを求め、一般会計、国保・介護保険・後期高齢者医療の各会計に反対しました。



# 区財政豊かな今こそ区民応援の予算を 子育て支援、高齢者 大切に 区政へ



文京区は、区民サービスを削り、住民税値上げなどで貯め込み、基金総額は400億円。区長が新年度予算を「子どもと高齢者の応援歌」というなら再開発でなく、保育園の待機児や特養ホームの増設をはじめ区民の切実な願いに応え、この潤沢な区財政を有効に活用すべきです。

## 保育園が足りない!

“子育てと仕事の両立”に欠かせない保育園、しかし入園待ちする待機児童数が増えつづけています。今年の募集締め切り時には、第一希望がかなわなかった児童数は330人を超えました。そして4月現在でも100名を超えます。保育園に入れなかった保護者は途方にくれています。

文教・予算委員会で、区は「現状では新たな区立園の増設は考えていない」と答弁しましたが、果たしてこれで区民の願いに応えられるのでしょうか。

## 区立園の増設を

この現状に区議会与党からも区の姿勢について厳しい追及がありました。区議団は、保育士を増やし、園

児の定数を改定すれば、今のままでも100名以上を受け入れられること、抜本的には、待機児童の多い小石川、水道、千川地域での区立保育園の新設を求めました。

## 育成室も満員 —子どもの応援歌と言えるの?

小学校低学年の放課後の保育施設である育成室も満員です。40名の定員を超える育成室が19室(全体の76%)、うち千石、千石西、柳町育成室など6室は定員を50名に増やし対処せざるをえません。これらの地域に、一刻も早い育成室の増設が必要です。



1万2千人が参加した「制度の中止・撤回を求める東京大集会」(3.23)

## いのちは平等 長寿医療制度 高齢者差別の制度は廃止を

「私は七十六、夫は七十九歳、計算してみたら二人で年間十八万円だった保険料が二十五万円。ひどいですね」  
七十五歳以上の高齢者を健康保険や国民健康保険からはずし、別枠の制度に強制加入させる後期高齢者医療制度が始まりました。文京の対象者は約二万人です。  
保険料の負担は増えるのに医療の自身は制限されます。  
「国民のいのちと健康を年齢で差別する憲法違反の制度」と指摘する人もいます。  
日本共産党は、後期高齢者医療に関する区条例に反対し、廃止を求めています。  
複数の病院にかかりにくくなる、治療の費用に上限があるなど、お医者さんからも「こんな制度では責任もった治療ができない」と批判が高まっています。

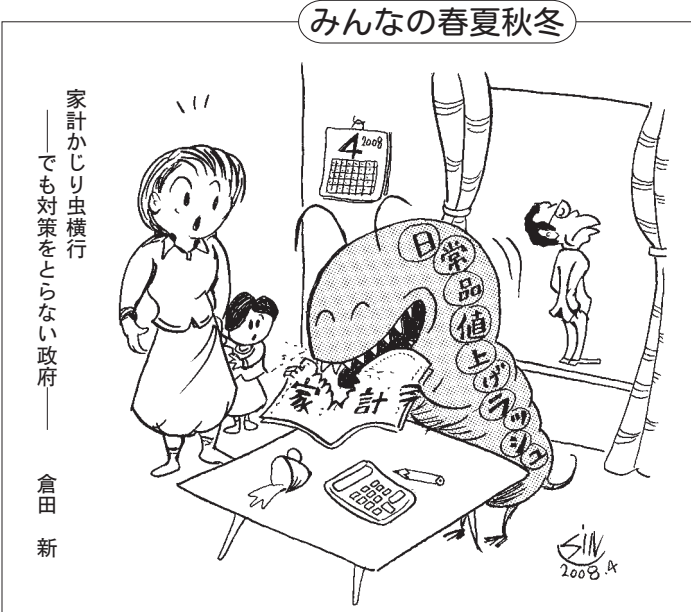
「総合体育館建て替え地検討協議会」は、候補地のうち「旧第四中学校跡地が適地」という答申を区長に提出しました。これを受けて区は、三月二十六日、正式に旧四中跡地に移設することを決定しました。  
今後は、施設について利用者や区民の要望を取り入れ具体化を急ぐこと。また、当初区が建設地とし、区民が見直しを求めた元町公園等は保存とその活用について検討すべきです。

## 湯島 旧四中跡地に決定

「総合体育館建て替え地検討協議会」は、候補地のうち「旧第四中学校跡地が適地」という答申を区長に提出しました。これを受けて区は、三月二十六日、正式に旧四中跡地に移設することを決定しました。

## 学校将来ビジョン 白紙にもとせ

昨年から議論を重ねている「検討協議会」委員の共通意見は「将来ビジョン素案年次計画の白紙撤回」です。  
区は、まず計画を撤回し、隣接する校庭のない五中・七中の統合校建設の再検討を含め、文京の教育のあるべき方向を深く議論する保障をすべきです。あわせて少人数学級や老朽校舎の改築などは急いで実施することが必要です。



みんなの春夏秋冬

家計かじり虫横行  
でも対策をとらない政府  
倉田新

## 妊婦健診は14回助成に

妊娠しても経済的理由で健診を受けられず不幸な結果になる例が増え全国的に大問題になっています。  
日本共産党は、これまで2回の無料健診を、安心して出産できるよう「厚労省通達」どおり14回に拡充するようくり返し求めてきました。区民からも区議会に拡充を求める請願が出されていましたが、この度1回目8500円、2~14回まで5000円、エコー検査5300円の助成が実現しました。

## 区立保育園の全室が冷房化

残っていた駒込保育園、水道保育園の各2室に設置が決まり、幼稚園の遊戯室も冷暖房機が設置されます。

## 認証保育園の保育料を助成

高い保育料で月8万円のケースも。1ヵ月160時間以上預ける場合2万円補助。

## B-ぐる 39万人が乗車

区民に親しまれ、予想を上回る利用者。目白台運動公園など新路線を望みます。